

# レポート学習法(自習バージョン)

## ■ 知識のデータベース化 ■

平成30年3月20日(火)

家庭で自習するときの、確実に学力を高める学習法の紹介です。

## 1 学習

### ①資料や例題を学習しながら問題を解く。

解答書はを見ないで、資料だけを使って解くこと。

ここでは知識をデータベース化します。

つまり、問題を解きながら、知識を必要なときにいつでも取り出せるように整理しながら覚えます。

資料はそのために使います。最も重要な学習部分です。

### ②解答書を見て、答合わせをする。

「解けたら○、間違ったら×」を問題番号の前に記録する。

正解の理由を学習する(わからないときは先生に教えてもらうこと)。

問題を解いた日付もプリントの右上に記録しておきます。

### ③カスタマイズ資料を作成し、資料に差し込む。(2~4も同様にする)

自分に欠けていた知識、あるいは、この問題を解く時に必要に思える資料等を問題プリントの後ろに差し込んでおきます。

これは、自分だけの参考書(データベース)を作ることを意味します。

(資料の差し込みができるようにプリントはリングファイルに綴じておきます。)

### ④解き方を覚える

×問題については、計算用紙にくり返し練習し、解き方を覚えます。

(○つけは学習の始まりで、この覚える学習が学力になります。)

## 2 レポート【1】学力化チェック(その1)

(【学習】した日から1週間ほどあけて…)

### ①資料・例題を見ないで 全問題 を解く。

### ②解答書を見て、答合わせをする。

「解けたら○、間違ったら×」を問題番号の前に記録する。

正解の理由を学習する(再学習になります)。

問題を解いた日付もプリントの右上に記録しておきます。

\*ここで×印が2個つく問題も出ます。要注意問題です。

## 3 リピート【2】学力化チェック(その2)

(【チェック1】をした日から1週間ほどあけて…)

①資料・例題を見ないで ×印の問題だけ を解く。

②解答書を見て、答合わせをする。

「解けたら○、間違ったら×」を問題番号の前に記録する。

正解の理由を学習する(再々学習になります)。

\*ここで×印が3個つく問題も出ます。

テスト1時間前には復習すべき要注意問題です。

★この段階で、すべての問題に正解できるようになっているはずです。

解けない問題が残っているときは、これまでの学習の仕方に問題があります。

正しい考え方で、紙にきちんと答案を書いて覚えましたか？

資料や解き方のヒントを見ないで、自力で解いてみましたか？

---

## 4 リピート【3】テスト直前対策

(テスト対策として…)

①何も資料を見ないで テスト範囲の全問題 を解く。

時間がないときは、×印のついている問題だけを解いてもよい。

②解答書を見て、答合わせをする。

「解けたら○、間違ったら×」を問題番号の前に記録する。

正解の理由を学習する(再々々学習になります)。

\*ここで×印が4個つく問題も出ます。

テスト直前には必ずチェックすべき要注意問題です。

---

このようにして「解けない問題」を「解ける問題」に変えていきます。

確実に、解けない問題がなくなります。(テストでは、確実に得点できます。)

これが、今、巷でうわさの「点を取りにいくリピート学習法」です。

## 100点学力化

学校のテストや模試答案は、受験対策の最高のツールです。  
それは到達すべきレベルとそこまでの自分の到達点を示しています。だから、それは、  
今、自分が何を学ぶべきかを具体的に教えてくれます。

### (1) 100点学力化

- ①テスト（学校のテスト、校外模試など）が終わったら、間違えた問題の正答答案を作ります。
- ②これを解けるようになるまで繰り返し練習します。

全問題が解けるようになったとき、学力はこのテストで100点を取ったのと同じレベルになっているはずです。

### (2) データベース作り

そのために…

- ①テストは実施日順にファイリングします。
- ②そのテスト答案の直後に自分で作った正解を差し込んでおきます。  
後で読んでも分かるようにするためです。
- ③また、その問題を解くのに必要な類題や資料も差し込んでおきます。

これらは、範囲のないテストでは、テスト対策資料として使えます。

**以上のことを日々きちんと積み重ねていくと  
確実に「山形東，西，南高」に合格できます！**